

# 平成18年度事業報告

財団法人豊田市国際交流協会（TOYOTA INTERNATIONAL ASSOCIATION：TIA）は、1988年10月の設立以来「国際化の主役は市民である」の理念のもと、国際交流・国際理解教育・多文化共生の活動を三本の柱とし、地域の国際化を推進してきました。

平成18年度は、日本人市民や外国人市民がともに協力して国際化を推進する年とし、ボランティア登録制度の改善、ボランティアの集い、サッカー大会開催など様々な事業を実施したほか、平成19年度に新しく設置する「とよたグローバル スクエア」の有効利用について、豊田セミナーのテーマに取り上げて議論するとともに、ボランティアとも協議を重ねました。

また、ことばと文化のサロンや外国人災害サポートボランティア養成講座、日本語支援ボランティア養成講座などの新規事業も立ち上げました。

## 1 交流事業

### (1) 国際親善受入事業

豊田市を訪問する外国人学生などの国際親善使節を受け入れ、市民との交流の機会を持ち、相互理解と友好親善を深めました。

ア アメリカ・ウエイン州立大学（デトロイト）

受入時期 平成18年6月23日（金）～7月3日（月）

受入人数 3名

内 容 助役表敬訪問、トヨタ自動車工場見学、日本文化体験などを実施。

イ ピープル・トゥ・ピープル・スチューデント・アンバサダー・プログラム（米国）

受入時期 平成18年8月11日（金）～14日（月）

受入人数 32名

内 容 各ホストファミリー宅にて交流

ウ 桜花学園大学留学生（韓国）

受入時期 平成18年11月18日（土）～19日（日）

受入人数 14名

内 容 各ホストファミリー宅にて交流

エ 韓国明知大学

受入時期 平成19年1月26日（金）～31日（水）

受入人数 13名

内 容 各ホストファミリー宅にて交流

### (2) おいでんまつり参加

「豊田おいでんまつり」に踊り連「トヨタリアン」を結成して参加しました。まつりを通じてと相互理解を深めるとともに、おいでんまつりの国際化に努めました。

開催日 平成18年7月29日（土）

会場 豊田市中心市街地一帯

参加者 80名（ボランティア、日本語講座受講生など）

### (3) 愛・地球博関連事業（愛・地球博を生かした草の根の国際交流事業）

愛・地球博を生かした草の根の国際交流事業を推進するため、「とよた国際交流市民会議」を開催し、市民レベルの交流を実施するとともに、将来交流を継続していくための方策を検討し、助成金制度を立ち上げました。

#### ア 草の根の国際交流事業（サッカー、コンサート）の開催

開催日 平成18年5月3日（水）

場所 豊田スタジアム

内容 欧州連合（EU）と豊田市の子どもたちのサッカー親善試合を開催し、EU加盟国民と豊田市民の理解と友好を深め、市民レベルの国際交流を実施。

#### イ 草の根の国際交流継続のための検討

開催日 第1回 平成18年6月15日（木）

第2回 平成19年1月24日（水）

内容 「とよた国際交流市民会議」の開催。草の根の国際交流・国際協力活動の情報交換と、市民活動の支援のための仕組みづくりを検討。

#### ウ とよた国際交流市民事業助成金制度の立上げ

愛・地球博を通して培った市民主体の国際交流・国際協力のボランティア活動の活性化に寄与し、豊田市の国際化に貢献する団体への支援を目的としてT I Aが支援する制度を立ち上げ、事業の募集・審査・助成金の交付を実施。

審査日 平成18年10月13日（金）

結果 下記2件の応募と事業への助成金の交付

(1) 事業名 豊田ひとつしかない地球こども広場

団体名 とよたラボパーティー

助成交付金額 39,000円

(2) 事業名 藤岡地区とパプアニューギニア国との友好事業

団体名 藤岡パプアニューギニア友好協会

助成交付金額 123,000円

### (4) アップウィズピープル日本ツアー受入れ

米国コロラド州デンバーに本部を置く非営利の体験型国際教育団体であるアップウィズピープルを受け入れ、広く市民に国際交流の場を提供するとともに、多様な文化への理解と諸外国の学生たちとの友好を深めました。

アップウィズピープル本部（デンバー）の決定により、平成18年11月末に日本オフィスが閉鎖されました。財政的に困難で正常な経営状態に回復するには2～3年（予定）を要するため、今回閉鎖が決定され、アップウィズピープルの活動は今後も継続しますが、日本での活動はしばらく休止となります。来年度は、新たに立ち上げられたワールドキャンパスインターナショナルが日本での活動を引き継ぐこととなります。

開催日 平成18年10月16日（月）～23日（月）

内容 助役表敬、地域活動、交流パーティー

参加者 23か国・79名

## 2 相談・斡旋事業

### (1) ボランティア登録・育成・紹介事業

日本語支援・通訳やホームステイなど国際化の担い手となる人材をボランティアとして登録し、ニーズに応じた活動を展開しました。特に日本語学習支援やホームステイをサポートするボランティアを中心に、本年度は237名がボランティア登録をしました。

#### ア ボランティアの登録・育成・紹介の実施

・個人ボランティア 事業企画・推進ボランティア、情報ボランティア（図書整理など）  
通訳・翻訳、日本文化紹介、ホームステイ・ホームビジット

#### ・グループボランティア

交流・支援活動 アジア友の会、外国人医療支援グループ、日本文化紹介、ほづみ会、オープンハート、留学生を支援する会（活動休止中）

教育・学習活動 A l p h a 日本語教室、海外生活体験者グループ、日本語サロン

情報収集・提供 E－I F F、ひらがなういずゆー

#### イ ボランティア代表者会議の開催

ボランティア活動の活性化と各グループ共通の課題共有と解決に向けて開催しました。

18年度は特に12月3日（日）に行なわれた「ボランティアの集い」の企画・立案に多くの時間を費やし準備を進めました。

開催日 平成18年4月23日（日）、7月9日（日）、8月6日（日）、  
10月15日（日）、平成19年1月14日（日） 計5回

参加者 各グループ代表者及び中堅層

#### ウ ホームステイ・ホームビジット紹介・斡旋

#### エ ボランティアニュースレターの発行

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、外国人市民に対して生活情報を提供しました。

発行回数 年3回（6月末、10月末、2月末）

発行部数 1,100部／1回

#### オ 日本語支援ボランティア養成講座（新規）

地域在住外国人の日本語学習を支援するため、ボランティア養成講座を開催しました。終了後は日本語サロンまたはA l p h a にボランティア登録していただき、地域での日本語学習支援の充実を目指しました。

開催時期 平成18年10月1日（日）～11月26日（日）

参加者 34名（日本語支援ボランティアに興味のある市民）

#### カ T I Aボランティアの集い（新規）

普段は活動を別にするT I Aボランティアグループのメンバーが集い、それぞれの活動やボランティアに関わる情報を共有し合い、親睦を図る目的で実施しました。集いの内容については代表者会議の中でボランティアグループ代表者と事務局が協議を重ね、豊田理事長の講演、ボランティア活動に関してテーマ別に分かれての座談会、交流会を行いました。

開催日 平成18年12月3日（日）

参加者 46名（T I A登録ボランティア）

## (2) 国際交流情報の提供、相談事業

国際交流・協力経験者や、海外ボランティア体験者によって、国際交流・協力活動や海外留学、海外生活情報、帰国児童生徒問題等についての情報提供、相談業務を実施しました。

## (3) 外国人多言語相談事業

18年度からは、急増する中国出身者に対応できるように、現在土曜日の午前中に実施している標準中国語による相談窓口を平日の午前中にも拡充しました。

総相談件数 27件（内、土・日相談件数11件）

## (4) 通訳派遣事業

外国人が市民生活を送る上で、人道・人権に関わる問題、福祉・保健・医療・教育に関わる諸手続きなどに通訳補助が必要な場合に通訳者を派遣しました。今年はベトナムやインドネシアなどアジア圏出身者言語による依頼が急増し、また児童虐待やオーバーステイで入院中の子どもの対応など複雑かつ深刻な案件への派遣が目立ちました。

実施期間 平成18年4月1日（土）～平成19年3月31日（土）

依頼件数 9件（病院2件、市内団体6件、個人1件）

派遣回数 延べ19回 通訳者 述べ27名

言語別 英語3件、中国語3件、ポルトガル語4件、インドネシア語4件、スペイン語1件、韓国語1件、ベトナム語1件、ネパール語1件、トルコ語1件

## (5) 市内及び近隣地域の学校国際理解教育プログラム相談・支援事業

小中学校の総合学習や交流館等で取組みが行われている国際理解教育プログラムの相談について、依頼に応じて関連資料の紹介や講師派遣の支援を行いました。

相談件数 計4件（うち講師派遣2校・計6名、TIAボランティアグループほづみ会対応1校、図書・ビデオ紹介1校）

## (6) NPO等への協力・支援

市内在住の外国人市民の課題解決に取り組んでいるNPO等は、多文化ソーシャルワーカーとしての機能も担っており、活動を継続するための支援・協力の一環として名義後援や研修会への出席等を行いました。

## (7) ブラジル一日領事館

豊田市市民相談課主催である当該事業のサポートを行う予定でしたが、中止となりました。理由としては、豊田市で開催することの需要の低さが挙げられます。

## 3 研修・啓発事業

### (1) 日本語講座

市内及び近隣市町村在住の外国人が日本人と円滑なコミュニケーションを図り、充実した日常生活を送るための一助として、専門講師による日本語講座を実施しました。

開催日 前期：平成18年 4月 8日（土）～平成18年 9月 9日（土）

後期：平成18年10月 7日（土）～平成19年 3月10日（土）

毎週土曜日 午前9時30分～午前11時45分

クラス 入門・にほんご1・にほんご2・にほんご3

参加者 計137名（前期55名・後期82名）

主な出身地：ブラジル・中国・韓国・トルコ・インドネシアなど

## (2) 国際理解教育セミナー

人権・平和・多文化・環境といった地球規模のさまざまな問題への理解を深め、その解決に向けて実践的な行動ができる地球市民の育成を狙いとした啓発事業を、参加・体験型のセミナー形式で実施しました。

### <第1回>

開催日 平成18年10月7日(土)

内容 テーマは「まるごと中国講座パート2 ～中国茶から学ぶ～」。講師の出身地である北京と中国茶についての文化や歴史を知るクイズを通して中国に対する興味、親しみを深めてもらいました。また、中国茶の入れ方や楽しみ方など、実際にお茶をいただきながら中国文化を学び、参加者との交流を図りました。

参加者 15名(一般市民、中国語講座受講生など)

### <第2回>

開催日 平成19年2月10日(土)

内容 「チョコレートから世界を眺めてみよう」と題し、オーガニックチョコレートと普通の市販のチョコレートの食べ比べをしながら、チョコレートの原材料がどこの国で栽培され、どのような人が採り、どのようなルートを経て私達の手元に届くのかをワークショップ形式で学び、国際協力・理解について考えました。

参加者 10名(一般市民、ボランティア、小中学生など)

## (3) 第17回地域の国際化「豊田セミナー」の開催

主に東海地方で活動する国際交流協会職員、自治体職員、市民ボランティアが集い、「国際化まちづくり」をテーマに見識を深めました。

開催 平成18年11月28日(火) 午前10時20分～午後4時00分

場所 豊田産業文化センター 多目的ホールほか

参加者 105名(自治体職員、国際化担当者、ボランティアなど)

内容 **【基調講演】**「美術館が街をかえる～多様な人々と共に創る、開かれた街」

講師：蓑 豊氏(金沢市助役 金沢21世紀美術館館長)

**【分科会】** 1. まちなかの国際化～ホテルからの提案

話題提供者：ホテル豊田キャッスル常務取締役 湯本哲哉氏

司会者：豊田商工会議所副会頭 河木照雄氏

2. こんな場所にしたい、地域と世界が交わる場

話題提供者：市民ボランティア 佐伯英恵氏

ブラジル籍市民 小西カタリーナ三宅氏

司会者：豊田市国際交流協会理事長 豊田彬子

3. 進化する国際交流協会

話題提供者：武蔵野市国際交流協会コーディネーター 薦田庸子氏

司会者：愛知県国際交流協会主事 富樫剛史氏

【パネルトーク】「車座になって語ろう、私たちが集うこれからのまち」

モデレーター：豊田市国際交流協会 倉橋靖俊

パネリスト：蓑氏・湯本氏・河木氏・薦田氏・富樫氏・佐伯氏・

小西氏・横地清明氏（豊田市役所総合企画部部长）・豊田

共 催 財団法人愛知県国際交流協会・豊田市

後 援 豊田商工会議所

#### （４）外国語講座

##### ア 韓国・朝鮮語講座

音楽・映画・ドラマ・サッカーなどを通じ依然として注目度の高い隣国・韓国。本講座では入門レベルの韓国語を学ぶ目的で市民対象に開催しました。

開催日 平成18年5月19日（金）～7月7日（金）

参加者 20名

##### イ 中国語講座

地理的にも近く、文化や経済的な結びつきが年々深まる中国への理解を深めると同時に、市内外国人登録者数が第2位となった中国への文化理解を図り友好親善のきっかけづくりの場とするため、市民対象の中国語入門講座を年2回開催しました。

開催日 前期：平成18年7月21日（金）～10月13日（金） 全12回

後期：平成19年1月12日（金）～3月30日（金） 全12回

参加者 前期19名 後期20名

##### ウ スペイン語講座

ラテンアメリカ出身者が多い豊田市の現状を踏まえ、入門レベルのスペイン語と文化の講座を開催することで、市民に対するラテンアメリカ諸国への理解を進めました。

開催日 平成19年1月6日（土）～3月24日（土）

参加者 20名

##### エ ことばと文化のサロン（新規）

市内在住の外国人市民の出身国のことばや文化に焦点を当て、日本人市民に対して広く国際理解を進める目的で実施しました。試行的に行なった18年度のテーマは「挑戦！韓国宮廷料理」。日本語サロンの韓国出身受講者を講師に迎え、テレビ番組で関心の高まっていた韓国の宮廷料理を作り、ドラマでは見えない韓国のこぼれ話を聞きました。

開催日 平成18年10月21日（土）

会場 きらっ☆とよた

参加者 22名

#### （５）外国人防災体制の整備

##### 外国人災害サポートボランティア養成講座（新規）

東海大地震など大規模な自然災害が発生した場合、外国人被災者に対する相談業務や情報提供の支援について、ことばの面からサポートできる人材の確保と登録制度の整備に着手しました。初年度の試みとして災害時の被災者支援活動への理解を深めるため、計5回の連続講座を開催しました。外国人市民を始めとする多くの参加者が得られた一方、ポルトガル語

やタガログ語、韓国・朝鮮語など、豊田市で需要の高い外国語に対応できる人材の不足が明らかとなり、人材の確保が課題となりました。講座の終了後は有志の登録ボランティアとともにトヨタボランティアセンターが主催する避難所宿泊体験研修にも参加しました。

開催日	第1回：平成18年 8月 5日（土） 第2回：平成18年 8月26日（土） 第3回：平成18年 9月16日（土） 第4回：平成18年 9月23日（土） 第5回：平成18年10月14日（土） 全5回
内容	第1回：オリエンテーション（市役所担当職員・T I A職員） 第2回：外国人被災者支援の経験談①（長岡市国際交流センター羽賀友信氏） 第3回：災害時の通訳翻訳活動の実践（多文化共生センター 田村太郎氏） 第4回：外国人被災者支援の経験談②（元新潟県国際交流協会 須田麗子氏） 第5回：やさしいにほんごの活用・修了式（弘前大学大学院 佐藤和之氏）
参加者	32名（日本語と外国語でコミュニケーションができる市内在住・在勤の人）
修了者	23名（外国人13名・日本人10名） （言語別：英語7名、中国語5名、スペイン語4名、ポルトガル語2名、ベトナム語2名、タイ語1名、インドネシア語1名、ネパール／チベット語1名）

#### 4 情報収集・提供事業

##### （1）T I A機関誌「サンフラワー」発行事業

国際交流に関する情報とT I Aの事業案内等を機関誌として発行しました。国際交流の推進とT I Aに対する協力支援を得るため、機関誌は県及び市町村の国際交流担当部署、各種国際交流団体、T I A関係者及びボランティア等に広く配布しました。

発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）

規格 A4サイズ 4頁

発行部数 3,000部／1回

##### （2）国際理解教育ニュースレター発行事業

国際理解教育の手法や教材の紹介、セミナー等で実施したプログラム等を中心に、この分野に関心のある人々に充実した情報を提供しました。今年度はセミナー開催時期を意識して、効果的な広報ツールとしての役割を担えるよう努めました。

発行回数 年4回（季刊）

規格 A4サイズ 2頁

発行部数 2,000部／1回

##### （3）広報とよた「外国人のための情報コーナー」

豊田市の広報誌に英語・ポルトガル語による各種生活情報を掲載しました。

発行回数 24回（毎号掲載）

規格 A4サイズ 1頁

発行部数 146,240部／1回

#### (4) 図書、ビデオ収集・提供事業

市民が諸外国への理解や協力、地域の国際化への認識を深めるために、また、外国人が日本の歴史、文化、社会の理解を深めるために必要とする図書、資料、ビデオ等を収集・提供しました。

### 5 国際交流団体育成事業

各種国際交流関係機関、団体等が実施する地域の国際交流事業に対し、後援を始めとした積極的な支援を行いました。

### 6 調査・企画事業

#### (1) 多文化共生のまちづくり推進事業の取組み

地域の在住外国人が国籍や言葉の違いに関係なく、人間としての基本的な生活を送る上で支障をきたさないよう、さらには在住外国人がもたらす豊かな個性を生かしながら、多様な価値観の共存する多文化共生のまちづくり実現に向け、仕組みづくりや法制度見直しなどの検討を進め、関係部署と連携・推進しました。

##### ア 多文化共生への提言の展開

外国人集住都市会議・豊田市多文化共生推進協議会などを通じ、仕組みや法制度の見直しに関する提言の実現に向けて取り組みました。

##### イ 外国人の子ども支援事業の展開

18年度は教育委員会や学校・ボランティアとの連携のもと、外国人の子どもに対する「就学実態調査」を実施しました。また、集住地区の小中学校の担当者や地域のNPOが集い、課題を共有する連絡協議会にも出席し、日本語学習の場など情報提供を積極的に行いました。

##### ウ 保見団地多文化共生モデル地区事業の推進

保見団地内で活動するNPOが主催する研修会や会議への出席を通じ、関係者との情報交換を随時行いました。

#### (2) ボランティア活動活性化のための施策

ボランティア活動を活性化させ、新たな事業展開へ繋げていくヒントを得るためにボランティア活動が活発で事務局として先進的な取組みをしている神奈川県国際交流協会主催の講座に出席し、来年度以降の新規ボランティアを対象とした説明会の参考となる情報収集に努めました。

#### (3) その他の調査・企画事業の取組み

地域の国際化に即した本協会の業務内容及び果たすべき役割や組織体制等を確立するため、国際化に携わる関係者との意見交換や所要の調査等を随時実施しました。

### 7 外国人青少年社会順応促進事業

#### サッカー大会

外国人青少年に人気の高いサッカーの大会を開催し、スポーツを通じて参加者同士や子どもと保護者が交流する機会を提供しました。3年目を迎えた本事業は、これまで協力してくれた外国人スタッフが自ら主体となってイベントを検討する動きもあり、今年度をもって事業としては一端区切りをつけることになりました。今後は彼らの動きを見守りながら、適切な支援を行なっていきます。

開 催 平成18年11月12日(日)

場 所 東海フットサルANNE X篠原



- 参加者 1) 7～12歳の青少年160名、計23チーム(豊田市内のブラジル人学校、保見地区の日本語教室やスポーツチームの所属者、東・西保見小学校の児童など)
- 2) 大会スタッフ、当日ボランティア40名

## 8 国際交流センター運営事業

地域の国際交流活動の拠点として、国際交流や海外諸国に関する情報の提供及び外国人への生活やイベント、観光地等に関する情報の提供、各種相談への対応のほか、日本人と外国人との交流を深める場、ボランティア活動の場の提供として国際交流センターを運営しました。

## 9 その他 ボランティアグループ活動計画

各グループの以下の活動について、T I Aは活動環境の整備と個別の支援を行いました。

### (1) 国際交流

#### ア オープンハート

各種ホームステイにおける調整を行いました。

ウエイン州立大学、アップウィズピープル日本ツアー、桜花学園大学留学生(韓国)、ピープル・トゥ・ピープル・スチューデント・アンバサダー・プログラムス(米国)、韓国明知大学

#### イ 日本文化紹介

在住外国人への日本文化紹介(茶道・書道・華道・着付け・折り紙等)を随時行いました。

### (2) 国際協力

#### ア アジア友の会

書き損じハガキ回収キャンペーン

回収時期 随時

内 容 交流館を中心に、市内全域での書き損じハガキの収集活動による収益金によって、インドの農村貧困者自立のための団体を支援しました。  
今年度で活動を終了し解散。

#### イ ほづみ会

タイスタディツアー

開催日 平成18年6月6日(火)～13日(火)

内 容 「暁の家」の生徒との交流他、現地訪問先でオカリナチャリティコンサートを実施。

参加者 16名

タイランド講座

開催日 ① 平成18年 9月24日(日)

② 平成18年10月29日(日)

内 容 ① 「暁の家」のタイ人スタッフを講師に招き、現地の活動状況の講演と、タイの民芸品のクラフト作成講座を実施

② ①と同じ講師との交流を通じ「共に生きる」ことについて学ぶ

参加者 ① 20名 ② 29名

その他イベントなどでのタイ民芸品のバザー販売（随時）

### (3) 在住外国人と交流・支援

ア 留学生を支援する会（平成18年度は活動休止）

イ E-IFF

・英語サロンの開催

①開催日 平成18年4月22日（土）

会場 崇化館交流館

内容 インドの家庭料理の紹介

参加者 25名

②開催日 平成18年9月16日（土）

会場 崇化館交流館

内容 パキスタン料理の紹介

参加者 19名

・メディカルインフォメーション改訂版作成のための情報収集

・通訳トレーニングの実施

・味噌蔵・酒蔵を英語でガイド研修ツアーの実施

開催日 平成18年11月11日（土）

内容 味噌蔵と酒蔵を訪問し、日本の食文化について学び、英語で説明する方法を考え、参加者同士での交流を図りました。

参加者 50名

・観光乗合タクシー運行実験への協力

開催期間 平成18年9月15日（金）～10月14日（土）

内容 経済産業省のサービス産業創出支援事業として採択された運行実験であるビジネスマンの休日小旅行「足助の週末」において、外国人参加者の通訳案内として協力しました。

・その他、出生証明書や婚姻手続等に関する証明書類の翻訳や外部から依頼のあった翻訳・通訳、TIA事務局からの通訳派遣を行いました。

ウ ひらがなういずゆー

外国人のためのひらがな情報紙「ひらがなういずゆー」を発行し、生活や地域情報を2言語（ポルトガル語・英語）表記も含め、年3回発行し、市内小・中学校の国際教室、地域の交流館や日本語教室などを中心に配布をしました。

エ 外国人医療支援グループ

外国人児童を対象とした健康診断会を実施（外国人医療支援グループ活動報告より）

開催日 平成18年11月19日（日）

会場 保見団地 142棟集会所

内 容 豊田市内ブラジル人学校に通う児童生徒を対象に健康診断会の開催と実施後のフォローを行いました。

参加者 50名

#### オ 日本語サロン

##### ・日本語クラス開講

開催日 毎週水曜日

前期 平成18年 4月12日(水)～平成18年9月13日(水)

後期 平成18年10月11日(水)～平成19年3月14日(水)

内 容 外国人への日本語指導と学習者への託児ケア

受講者 前期後期とも常時45名～50名(託児常時10名～15名)

##### ・バスハイク

開催日 平成18年5月31日(水)

行 先 岐阜県可児市 花フェスタ記念公園

内 容 日本語学習者とボランティアによる交流、郊外研修

#### カ Alpha日本語教室

毎週日曜日の日本語教室開催と、外国人との交流・仲間づくりを目的とした各種交流事業(もちつき、郊外学習)を実施しました。

開講時期 5月～8月、9月～12月、19年1月～4月 の計3期

受講者 延べ約450名

#### (4) 学習・情報提供

##### 海外生活体験者グループ

海外生活サロン(海外の日本人学校の情報を共有する会)年1回

開催日 平成19年2月3日(土)

場 所 豊田産業文化センター

内 容 「中国・香港での経験」についての講演

参加者 18名